

ベネチアにも 「舟橋」があつた！



▲神通川の舟橋。ベネチアの舟橋とそっくりだ。(『橋北夜話』橋北文化会発行より)



▲19世紀後半、ベネチアのジュデッカ運河に架けられたゴンドラの舟橋（レント一レ祭りの際に、仮設橋として架けられたもの）
「ヴェネツィア　水上の迷宮都市」（藤内秀信著　講談社）より。
出典／Il ponte "a terra" Venezia, I.V.A.V., Venezia, 1991.

ラグーナと呼ばれる潟から誕生した“水の都”ベネチア。街の中心部をS字形に流れる大運河は、水上交通のメインストリートとして繁栄してきた。

この大運河にかかる最も有名な橋が、400年以上の歴史を持つ「リアルト橋」。現在は石造りだが、12世紀後半にできた最初の橋は、なんと「舟橋」だったといふから驚き。さすがに、その当時の写真はないが、19世紀の舟橋の様子（上）が、往時を偲ばせる。

一方、富山は神通川によって生まれ、都心部はその中州から誕生している。その神通川に架けられていたのも、「舟橋」だった。

ベネチアと富山。この両者に「舟橋」があつたことは、單なる偶然ではないようだ。